

授業科目名	成人看護学援助論（急性期・周手術期）(2300212)		
時間割名	成人看護学援助論（急性期・周手術期）(44206)		
時間割担当	藤田智恵子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	木・4		

授業の目標・概要

急激な健康破綻が対象者および家族に及ぼす様々な影響を理解し、適切な看護援助ができるように学習する。急性期、リハビリ期、回復期にある患者と家族への具体的看護方法を学ぶとともに問題解決能力を養うための学習を行う。

学習の到達目標

1. クリティカル・周手術期にある対象の生体反応や治療・回復過程の特徴を踏まえた看護を理解する。
2. 周手術期・急性変化によって起こる対象の苦痛緩和する看護を理解する。
3. 治療による身体機能・自己イメージの変化とともに生きていく患者を支援する看護を理解する。
4. クリティカル・周手術期にある対象に対する倫理的側面を考慮した看護を理解する。
5. 周手術期にある対象の事例を通して、健康上の課題を明らかにし、看護計画を立案・実施・評価する。

授業方法・形式

講義・演習

授業計画

第1回	急性期・周手術期看護総論	急性期(特に周手術期)の看護の特徴と役割について学ぶ。
第2回	手術前の看護	手術に向けての準備、入院から手術直前の援助方法について学ぶ。
第3回	手術中の看護	手術室及び回復室看護の役割について学ぶ。
第4回	手術後の看護	手術直後の受け入れ方法と観察方法、アセスメントの視点について学ぶ。
第5回	周手術期の患者の看護 消化器系	消化器系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第6回	周手術期の患者の看護 呼吸器系	呼吸器系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第7回	周手術期の患者の看護 循環器	循環器系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第8回	周手術期の患者の看護 脳・神経系	脳・神経系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第9回	周手術期の患者の看護 運動機能系	運動機能系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第10回	周手術期の患者の看護 乳腺系	乳腺系の手術を受ける患者の特徴、看護について学ぶ。
第11回	集中治療を受ける患者の看護	ICU看護の対象と特徴、看護の役割について学ぶ。
第12回	救急看護	救急看護の対象と特徴、看護の役割について学ぶ。
第13回	救命処置・手術前後の看護	救命処置の看護について学ぶ。
第14回	救命処置・手術前後の看護(演習)	救命処置の具体的方法が習得できる。
第15回	まとめ(補習演習10回追加)	

成績評価の基準

定期試験70%、小レポート20%、授業への参加状況10%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

事前学習を行って授業に臨んでください。

履修上のアドバイス及び留意点

主体的に学習してください。

教材・教科書

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院
 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院
 ゴードン看護診断マニュアル 原書第11版 機能的健康パターンに基づく看護診断 医学書院

参考書

適宜紹介します。